



桃山学院大学
St. Andrew's University

保 健 室 年 報

第 28 号

(2023年度)

桃山学院大学 学生支援課 保健室

序　言

学生生活委員長
金光 明雄

2023年度はコロナ禍前の日常を取り戻す1年となりました。2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、それまでの新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）から5類感染症へと移行されました。これをもって、3年超に及んだ2類相当感染症としての対応が終了しました。5類移行後の感染症対策の実施は、行政がさまざまな要請・関与をしていく仕組みから、個人の主体的な選択を尊重し、自主的な取り組みを基本とした対応に変わります。これにともない、大学においても活動制限が解除され、授業やクラブ・サークル等の課外活動はコロナ禍前の姿に戻ることになりました。

新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せていますが、完全に終息したわけではありません。今後も変異ウイルスの出現により感染の流行が繰り返されることが予想されています。重症化リスクのある病気であることに変わりはありません。コロナ後遺症など未だ解明されていない問題もあります。学校教育の現場では、コロナ禍後の環境の変化に戸惑う学生らのメンタルケアも重要な課題となっています。感染症の影響が終息するまでにはまだまだ時間を要するでしょう。引き続き基本的な感染対策を心がけ、心身の健康管理につとめる必要があります。

桃山学院大学保健室はそうした状況にも対応しながら、これまでと変わりなく保健室業務に取り組んでまいりました。学生及び教職員に対する定期健康診断の実施、体育会クラブや海外研修参加学生に対する健康診断や保健指導、应急処置、保健室便りの発行等による保健知識の普及啓発がそれです。いずれの取り組みも、学生及び教職員が安心して健やかに学び働くために必要とされる心身の「健康」の維持・増進において重要な役割を果たしています。

以上を含む2023年度の取り組みを、ここに『保健室年報（第28号）』として取りまとめました。本年報が学生及び教職員の健康管理と健康増進のための支援体制の整備と充実に向けての一助となることを願っております。

最後になりましたが、本年報の発行にあたり、ご尽力いただきました関係者各位に心より感謝申し上げます。

はじめに

桃山学院大学 学医
医学博士 泉谷 良

大学生とアルコール：自己探求とリスク管理

コロナ禍が落ち着きを見せ始め、本学でもクラブ活動やサークル活動が再開し賑わいが戻りつつあります。同時に「お酒を飲む機会」も多くなるでしょう。特に新入生はサークル活動やクラブ活動で飲酒を勧められることが多く、「付き合いでお酒を飲まなければならないのか」と疑問に感じることもあるでしょう。大学生活において、アルコールはしばしば社交的な場面やストレス解消の手段として利用されます。

この時期の大学生活は新しい経験や自己発見の場でもありますが、同時にアルコール消費に伴うリスクも出てきます。アルコールは交流を促進するツールでもありますが、それが唯一の手段であってはなりません。アルコールが関与するシーンでは、他人への尊重や理解を示すことが不可欠です。適度な飲酒と相手の意志を尊重し、安全な環境を確保することが求められます。飲酒を強制したり、一気飲みをさせたりすることは絶対にあってはなりません。

アルコールとの関わり方を考える際には、厚生労働省の飲酒ガイドラインを参考にすることが有益です。このガイドラインは、安全なアルコール消費のための指針を提供しており、リスクをうまく管理するための方法になります。ガイドラインには適切な飲酒量について具体的な指針が示されています。学生は一回の飲酒量や週に飲酒する日数を抑え、飲酒量を適度に制限することが推奨されます。これにより、健康へのリスクを最小限に抑えることができます。

アルコールを提供する場合には、法律や倫理規定に則り、適切な判断を行うことが必要です。未成年者や飲酒に適さない人々に対しては、責任を持ってアルコールを提供しないよう努めることが大切です。また、アルコール消費が学業やキャリアに悪影響を及ぼす可能性があることを認識し、バランスの取れた生活を送ることが大切です。アルコールは一時的な楽しみを提供するかもしれません、その長期的な影響もよく理解し、自己の目標や価値観に合致するかどうかを考えることが重要です。新しい経験を積みながらも、自己の安全と幸福を最優先に考え、健康で充実した大学生活を送ることが重要だと思います。

－目次－

I	年間業務内容	1
II	学生の健康管理	3
1	定期健康診断	3
1)	定期健康診断実施要項	3
2)	定期健康診断受診状況及び事後措置	3
3)	新入生健康アンケート	6
2	体育会クラブ健康診断	10
1)	体育会クラブ健康診断実施要項	10
2)	体育会クラブ健康診断受診状況及び事後処置	11
3)	体育会クラブアンケート	16
3	保健室利用状況	19
1)	救急処置	19
2)	医療機関紹介状況	22
3)	健康診断証明書発行状況	22
III	教職員の健康管理	23
1	定期健康診断	23
1)	定期健康診断実施要項	23
2)	定期健康診断受診状況及び事後措置	23
2	保健室利用状況	27
1)	救急処置	27
IV	保健室便り http://www.andrew.ac.jp/hoken/23dayori.html 「入学おめでとうございます。2023年新入生号」	
No.132	新型コロナウイルス感染症 5類感染症になって5月8日から変わること	2023年 5月
No.133	5月31日世界禁煙デー	2023年 5月
No.134	麻しん患者が増加しています！MRワクチン2回目接種はお済ですか？	2023年 6月
No.135	熱中症にご注意！	2023年 7月
No.136	秋学期が始まる前に！	2023年 9月
No.137	梅毒感染者が増加しています！！	2023年 10月
No.138	UPDATE HIV！あなたが変わればエイズのイメージが変わる！	2023年 11月
No.139	トコジラミ～駆除困難なため家の中に持ち込まない～	2023年 12月
No.140	冬の感染症に注意しましょう！ 感染から一人ひとりを守るために！！	2024年 1月
No.141	国民の2人に1人は花粉症？	2024年 3月
No.142	WHOの警告！世界の各地で麻しん患者が増加	2024年 3月

I 年間業務内容

月	2023年度 保健室業務内容
4月	新入生対象入学時健康アンケートWEB回答を事務システムへ変換・修正 入学式、保健室便り「入学おめでとうございます。2023年新入生号」発行 新入生入学時健康アンケート集計、相談希望・現病ありの学生に随時聞き取り（電話連絡） フレッシュマンキャンプ（4/7・4/10・4/11） 入学時健康アンケート相談希望学生へ保健室案内等Mポートにてメール送信 学生定期健康診断実施（4/17～4/20）全学生対象1～3年次生（胸部X線のみ）4年次生以上（胸部X線撮影・身体計測・内科診察・尿検査）体育会所属学生（胸部X線撮影・身体計測・内科診察・尿検査・心電図検査） 桃山フェスタ・オープンキャンパスの為の待機（4/23） 学生生活委員会提出資料作成（新入生の健康アンケート） 健康診断証明書発行
5月	保健室便り №132「新型コロナウイルス感染症5類感染症になって5/8から変わること」発行 定期健康診断結果受取 事後処置 呼出へ必要学生への対応（5/10） 体育会所属クラブ学生登録・カルテ作成 3年次生教職実習介護等体験参加者のMRワクチン接種確認 教室CO2濃度測定試験的に実施 海外プログラム（ルワンダ）参加者の為の健康オリエンテーション（5/30 5限） 保健室便り №133「5月31日 世界禁煙デー」発行
6月	短期海外留学の為の健康オリエンテーション（6/7 5限） 桃山学院教育大学との打ち合わせ（6/8） 体育会代表者会議にて体育会検診未受診者へ受診勧奨（6/9） オープンキャンパスの為の待機（6/4 6/25） 海外長期派遣の為の健康オリエンテーション（6/14 5限） ひとり暮らしの料理教室（6/16 調理実習室） 文サ連フレッシャーズキャンプ 救急箱貸出（6/17） 全教室・教室棟のトイレ・事務棟の消毒液の交換（6/21・22） 第1回体育会ルーキーキャンプ 救急箱貸出（6/25） 学生定期健康診断実施業者との打合せ（6/29） 保健室便り№134「MRワクチン2回目の接種はお済ですか？」発行 健康診断証明書発行
7月	第2回体育会ルーキーキャンプ 救急箱貸出（7/2） 2023年度桃祭実行委員構成員名簿に伴う健康管理表作成 オープンキャンパスの為の待機 7/23 学生対象AED講習会（7/25） 保健室便り№135「熱中症にご注意！」発行 健康診断証明書発行
8月	オープンキャンパスの為の待機（8/6、8/20） 2023年度全国大学保健管理協会 近畿地方部会 総会出席（8/21） 国際センターのRA学生対象救急救命の講習会（8/23） 健康診断証明書発行
9月	2023年度大阪府結核対策費補助金交付申請書作成し、和泉保健所経由で提出（9/1） オープンキャンパスの為の待機（9/10） 入学前面談（9/11・9/15） 桃祭実行委員対象AED講習会（9/11） 統合準備の為の打合せ（午前）・保健室業務についてBDLオフィスと打合せ（午後）（9/12） 総合型選抜入試の為救護室待機（9/17） 全教室・教室棟のトイレ等・各事務所管設置の消毒液の交換（9/19～9/21） 研修会報告会議（9/20） 桃祭実行委員の合宿棟宿泊に関する健康管理指導（9/28）

月	2023年度 保 健 室 業 務 内 容
9月	9月卒業式(9/30) 健康診断証明書発行 保健室便り №.136「秋学期が始まります！」発行
10月	2024年度定常業務予算見積書作成・提出(10/3) 2024年度新規臨時予算計画書提出(10/12) 総合型選抜専願制・外留等入試の為救護室待機(10/15) 全国大学保健管理研究集会(10/4・10/5 当番校：金沢大学保健管理センター) 編転・社会人・渡日前選抜入試の為救護室待機(10/22) 和泉保健所による禁煙指導者研修会(10/24) ひとり暮らしの料理教室(10/27 調理実習室) シェイクアウト避難訓練実施(10/30) 保健室便り №.137「インフルエンザ・新型コロナウイルス流行に注意」発行 健康診断証明書発行
11月	学校推薦型選抜(公募制前期等)入試の為の救護室待機(11/11) 学校推薦型選抜(公募制前期等)入試の為の救護室待機(11/12) 大学祭の為の待機(11/22～11/27) 2023年度春期インド異文化・ボランティア体験セミナーの健康オリエンテーション(11/15) 2023年度春期海外短期派遣の為の健康オリエンテーション(11/29) 健康診断証明書発行 保健室便り№.138「世界エイズデー12月1日」発行
12月	教職員定期健康診断のデータ処理及び事後措置 教職員定期健康診断結果、有所見者の学医面談、紹介及び就労判定 京都グローバルインターンシップの為の健康オリエンテーション(12/4) 2023年春学期長期海外派遣の為の健康オリエンテーション(12/6) ひとり暮らしの料理教室(12/15 調理実習室) 総合型選抜併願制入試の為の救護室待機(12/16) 学校推薦型選抜入試(公募制後期)の為の救護室待機(12/17) 2024年度入学予定者ガイダンスの為の救護室待機(12/23) 健康診断証明書発行 教室棟トイレ・各事務所管設置の消毒液交換
1月	結核対策費補助金事業実績報告書・結核に係る定期健康診断実施報告書保健所へ郵送(1/10) 大学入学共通テストの為救護室待機(1/13・14) 2024年度入学者サイトへ健康アンケートを公開(1/18) 一般入試前期等試験の為の救護室待機(1/20・21) 総合型選抜入試の為の救護室待機(1/28) 健康診断証明書発行 保健室便り№.139「トコジラミ 駆除困難なため家の中に持ち込まない」発行 保健室便り№.140「冬の感染症に注意しましょう」発行
2月	一般選抜前期等入試の為の救護室待機(2/6・7) 大学院入試の為の救護室待機(2/10) 2023年度学生相談・障がい学生支援委員会出席(2/21) 和泉保健所より性感染症啓発パンフレット配布依頼 (2/26) 国際センターのRA学生対象AED講習会(2/28) 健康診断証明書発行
3月	一般選抜後期等入試の為の救護室待機(3/11) 2024年度春学期交換留学生の名簿作成と健康アンケートをキャンパスプランへ入力作業 「学びフェスタ」の為の救護室待機(3/20) 教室棟のトイレ等の消毒液交換 全教室の消毒液交換(3/25) 定期健康診断案内ポスター貼付 卒業生カルテ保存(Pdfファイル) 健康診断証明書発行 保健室便り №.141「国民の2人に1人は花粉症」№.142「WHOの警告！世界の各地で 麻しん患者が急増！」発行

II 学生の健康管理

I 定期健康診断

学生の定期健康診断は、学校保健安全法に基づき実施し、疾病予防、異常の早期発見、健康の維持増進を図ることを目的としています。

2023年度の定期健康診断は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行された1か月前の実施日程のため、昨年度に引き続き全員にマスクの着用を推奨し、感染防止対策を講じながらコロナ禍前の実施要領で実施しました。

I) 定期健康診断実施要項

表 I-1 定期健康診断実施要項

実施対象者	実施項目	実施期間
新入生・編入生 2年次生・3年次生 大学院生	胸部X線直接撮影 身体計測(身長・体重・BMI・視力)	4月17日(月) ～ 4月20日(木)
4年次生以上 社会学部社会福祉学科 (3年次生)	胸部X線直接撮影 身体計測(身長・体重・BMI・視力) 内科検診・尿検査	
体育会所属クラブ部員 (入部予定者を含む)	胸部X線直接撮影 身体計測(身長・体重・BMI・視力) 内科検診・尿検査・心電図検査	

2) 定期健康診断受診状況及び事後措置

① 胸部X線直接撮影結果

表 I-2 学年別胸部X線受診状況及び結果

	対象者数	受診者数	受診率%	要精検者数	要精検率%	2次受診者数
1年次生	1740	1631	93.7	3	0.2	3
2年次生	1639	1099	67.1	1	0.09	1
3年次生	1727	885	51.2	3	0.34	0
4年次生	1383	1037	75.0	5	0.48	2
留学生	166	27	16.3	0	-	0
大学院生	63	38	60.3	0	-	0
合計	6718	4717	70.2	12	0.25	6

表 I-3 胸部X線撮影有所見結果

	受 診 者 数	定期健康診断結果				要 精 檢 者 數	要 精 檢 率 %	再 檢 查 數	最終判定(精査結果含む)			
		B ほ ぼ 正 常	C 経 過 観 察	D 要 精 査	E 要 治 療				A 異 状 な し	B 放 置 可	C 経 過 観 察	E 要 治 療
I 年 次 生	1631	1	-	2	1	3	0.2	3	2	-	2	0
2 年 次 生	1099	-	2	1	-	1	0.1	1	1	1	1	0
3 年 次 生	885	1	3	-	-	0	-	-	1	1	2	0
4 年 次 生	1037	2	1	2	-	2	0.2	2	0	2	2	1
留 年 生	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 学 院 生	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	4717	4	6	5	1	6	0.1	6	4	4	7	1

② 内科検診・尿検査結果

表 I-4 社会学部社会福祉学科、ソーシャルデザイン学科実習参加者及び
4年次生以上内科検診結果

	対象者数	受診者数	受診率%	有所見者 数	有所見 率%
2年次生(ソーシャルデザイン学科) 介護福祉士実習参加学生	15	15	100	0	0.0
3年次生(社会福祉学科) 社会福祉・介護福祉実習参加学生	65	64	98	2	3.1
4 年 次 生	1383	1037	75.0	3	0.3
留 年 生	166	26	15.7	1	3.8
合 計	1629	1142	70.1	6	0.5

表 I-5 内科検診有所見内容別 精密検査結果

有所見内容	有所見者 数	学医による再診後判定					2 次 検 査	2次検査後判定		
		A 異 常 な し	B ほ ぼ 正 常	C 経 過 観 察	D 要 精 査	E 要 医 療		異 常 な し	経 過 観 察	要 治 療
心雜音(VSDフォロー中)	1	0	0	1	0	0	-	-	-	-
甲 状 腺 肥 大	3	1	0	0	1	1	1	1	0	0
不 整 脈	2	2	0	0	0	0	-	-	-	-
全 体	6	3	0	1	1	1	1	1	0	0

表 I-6 尿精密検査結果

	対象者	受診者	受診率%	1次陽性者		有所見者数	有所見率%	再検査者数	2次陽性者		指導区分 (精査結果含む)		
				蛋白	糖				蛋白	糖	異常なし	経過観察	要治療
2年次生 介護福祉士実習参加学生	15	15	100	1	1	2	13.3	2	0	1	1	0	1
3年次生 社会福祉・介護福祉士実習参加学生	65	64	98	1	0	1	1.6	1	0	0	1	0	0
4年次生	1383	1038	75.1	28	5	33	3.2	26	1	1	24	1	1
留学生	166	26	15.7	1	0	1	3.8	1	0	0	1	0	0
合計	1629	1143	70.2	31	6	37	3.2	30	1	2	27	1	2

身体計測結果

図 I-1 BMIによる判定（学生全体）

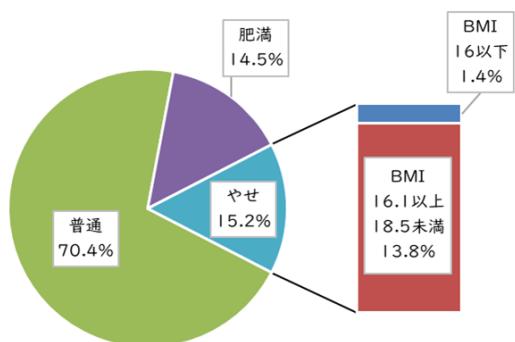


図 I-2 BMIによる判定（男子）

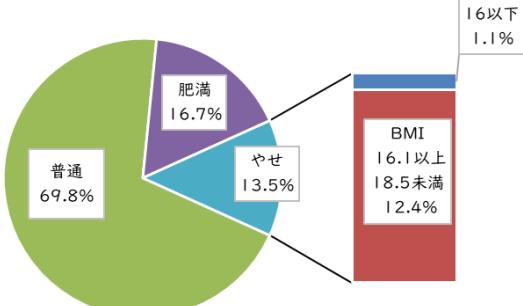
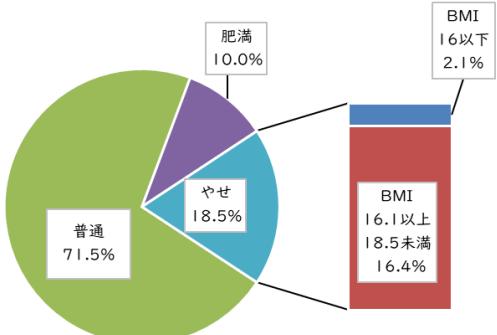


図 I-3 BMIによる判定（女子）



3) 新入生健康アンケート

在学中の健康管理に役立てるため、入学時に健康アンケートを実施しています。

① アンケート実施要領

実施方法	対象者
「新入生合格者サイト」にて WEB 回答	新入生全員（編転入生、院生含む） 1,798 名

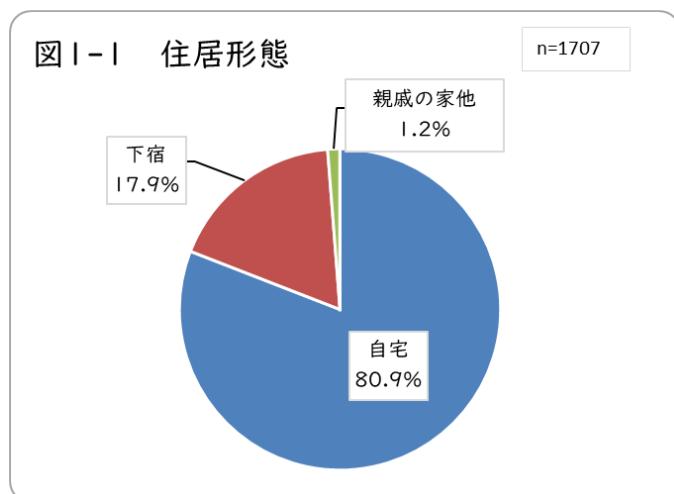
アンケート対象学生及び回収率

表 I-1 新入生・編入生・院生別回収率

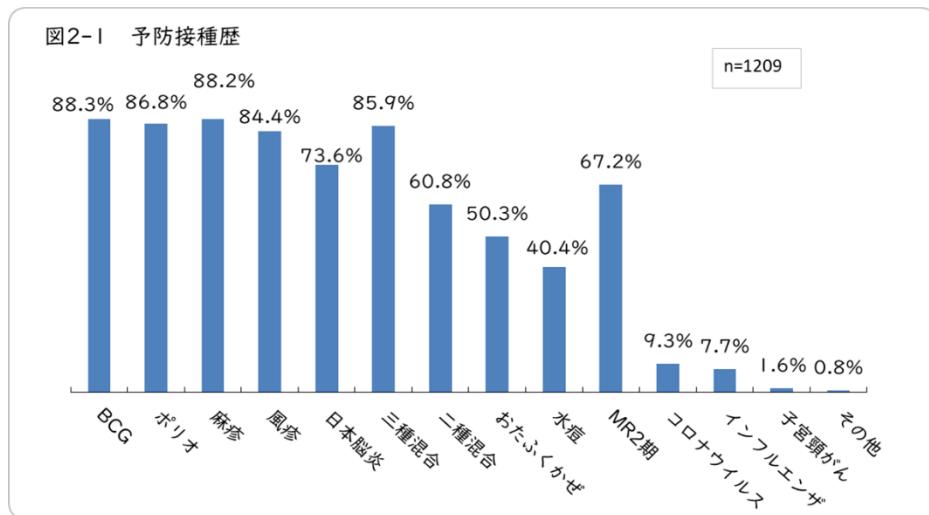
学部学科	対象者	回答者	回答率
経済学部	378	352	93.1%
社会学部	社会学科	297	284
	ソーシャルデザイン学科	94	92
経営学部	358	333	93.0%
国際教養学部	242	229	94.6%
法学部	209	202	96.7%
ビジネスデザイン学部	172	170	98.8%
編入生	29	26	89.7%
院生	19	19	100%
合計	1798	1707	94.9%

② 項目別データ（編入生・院生は除く）

I. 住居形態 入学後に居住する住居形態をお答えください。

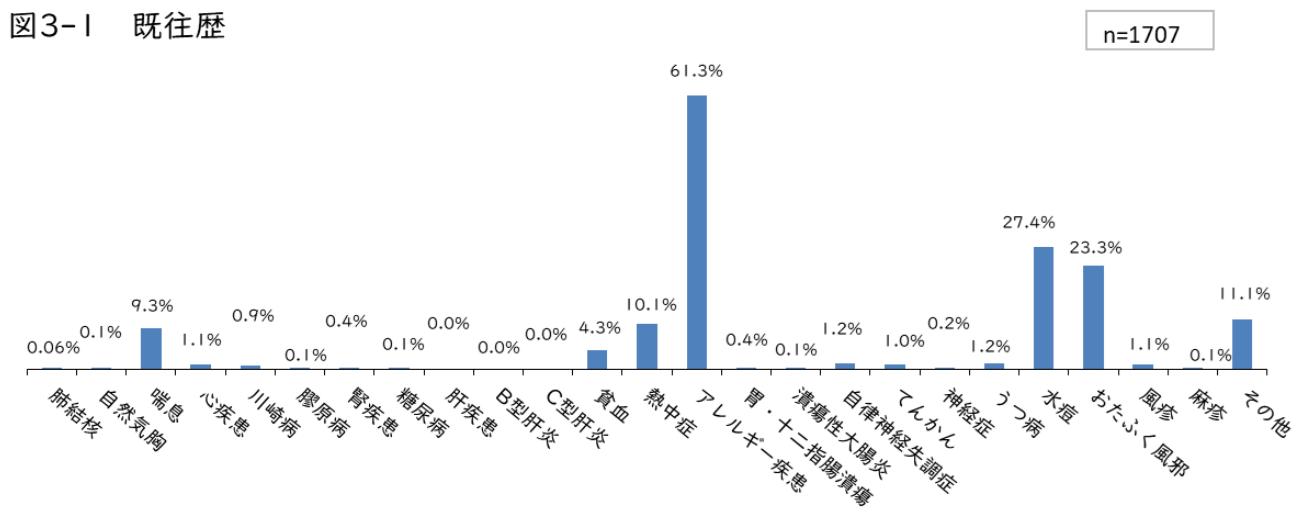


2. 予防接種 受けたことがある予防接種を母子手帳若しくは家族に確かめて正確にお答えください。



3. 既往歴

i 今までに罹患したことのある病気について該当するものにチェックをして発病年齢を記入してください。



ii 身体障がいについて該当する区分にチェックをして、該当する場合具体的な内容をお書き下さい。

表 3-1 身体障がいについて

障がい種類	件数	障がい者 手帳あり
運動障がい	4	2
視覚障がい	3	0
聴覚障がい	10	2
言語障がい	3	0
心機能障がい	2	0
発達障がい	3	1
精神障がい	4	1
嗅覚障がい	1	0
合計	30	6

iii アレルギー体質について

アレルギー体質の方は、アレルギー物質をお答えください。

図3-2 アレルギーの原因物質

n=1047

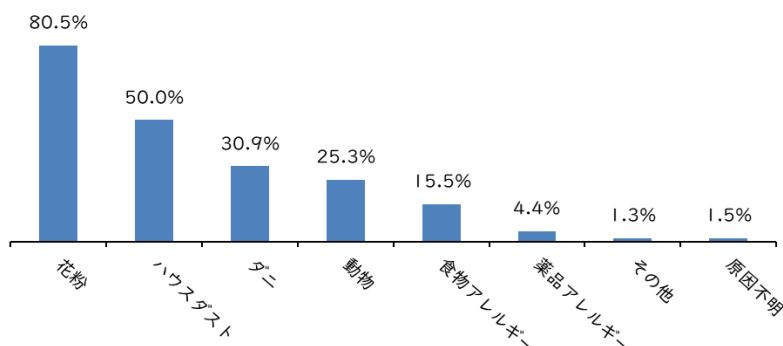
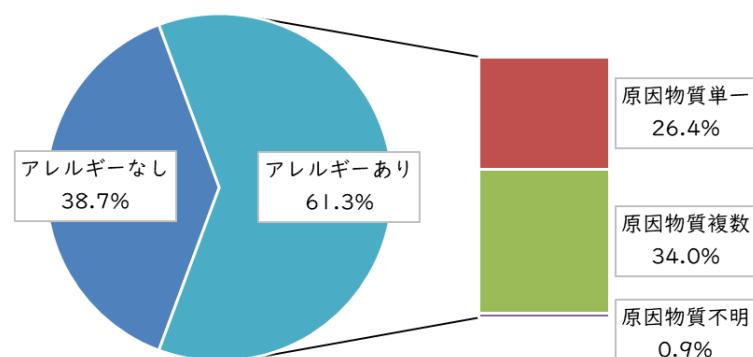


図3-3 アレルギー体質分類

n=1707



4. 健康状況

i 最近1年間に感じたこと、気づいたことのある症状についてチェックをしてください。

図4-1 最近1年間の健康状況

n=1707

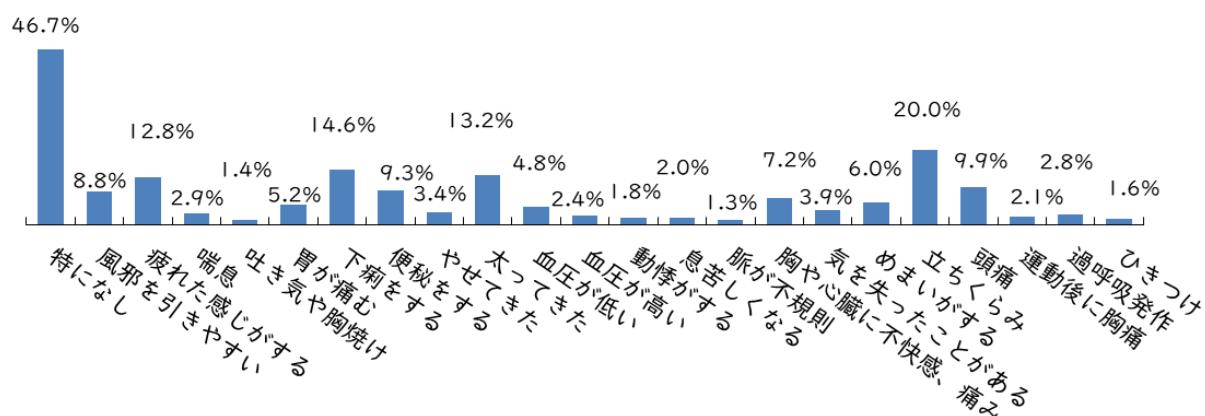
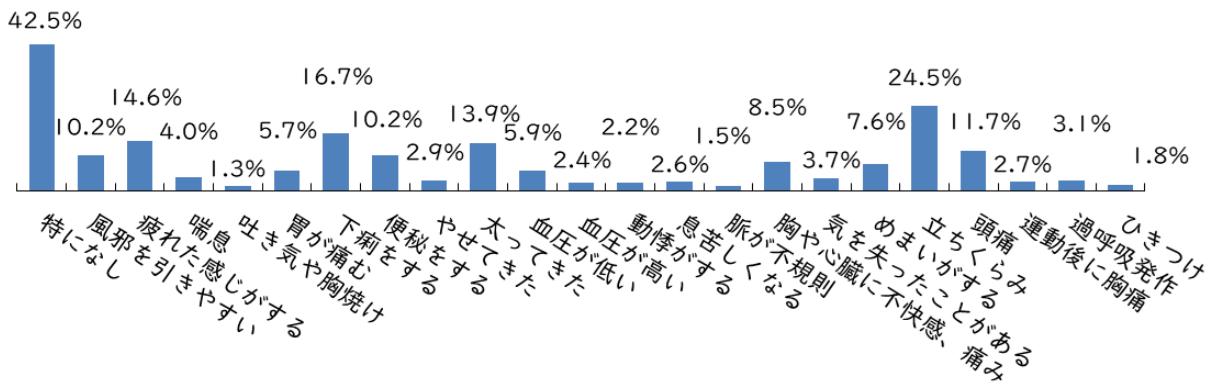


図4-2 アレルギー疾患の既往のある者の現症

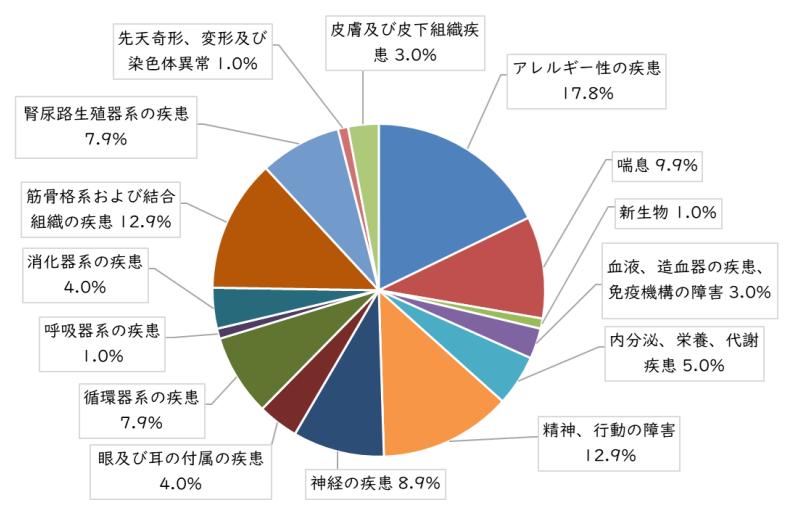
n=1047



ii 現在通院中の人には、病名、病院名をお書きください。

図4-3 現在治療中の疾患別割合

n=101



5. 保健室へ相談したいことはありますか以下の項目に該当するものがあればチェックしてください(複数回答可)

図5-1 相談内容

n = 731

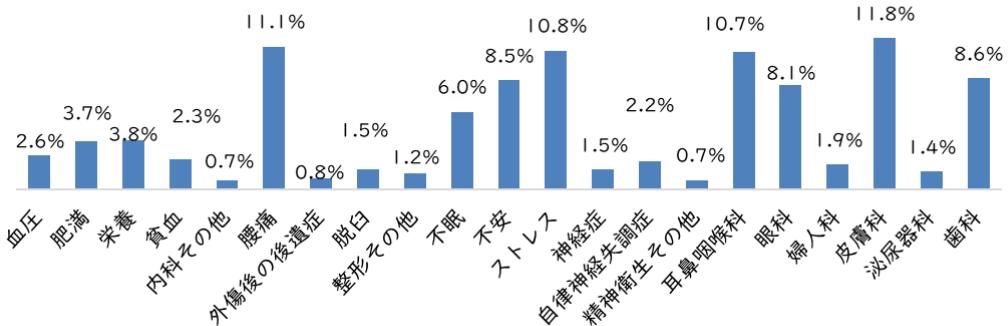


図5-2 相談内容の科目別割合

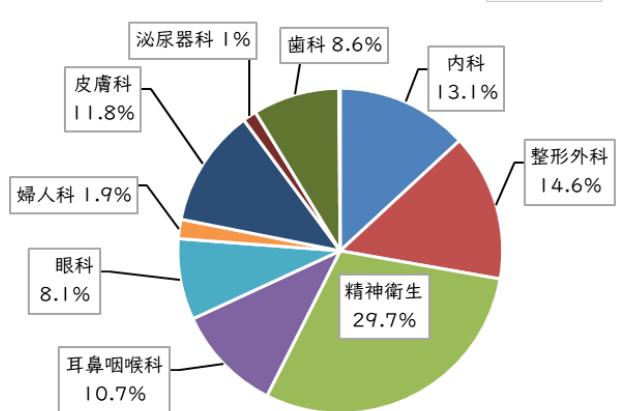


図5-3 相談内容（内科）

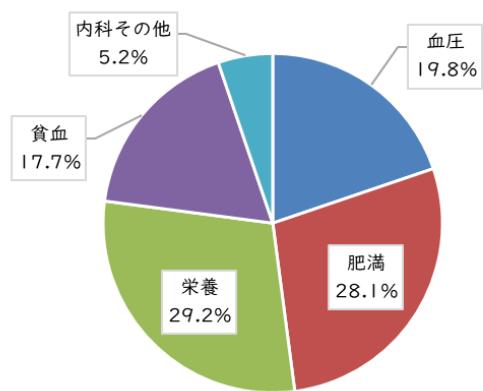


図5-4 相談内容（整形外科）

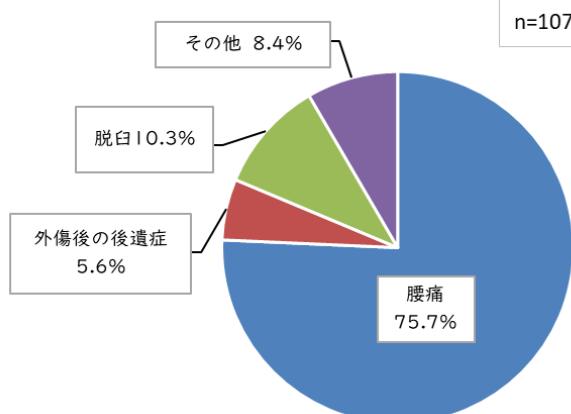


図5-5 相談内容（精神衛生）

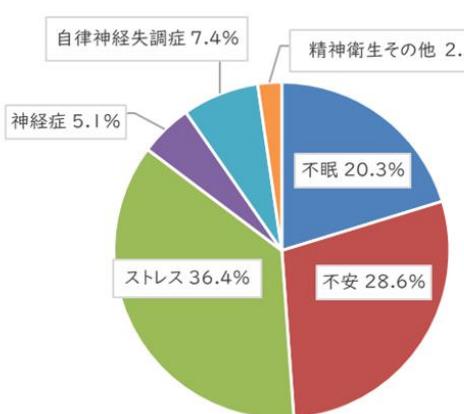


図5-6 相談内容（その他の科目）

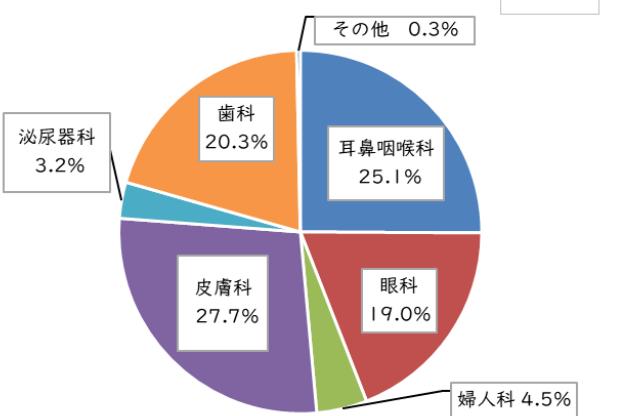
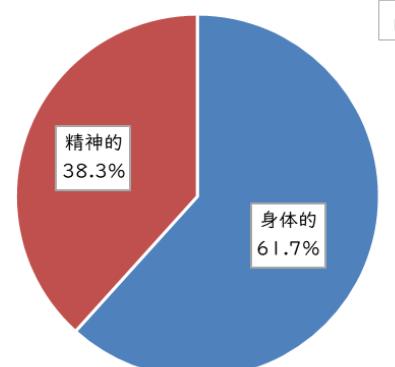


図5-7 入学後健康に関する心配



2 体育会クラブ健康診断

体育会クラブ所属学生は、毎年定期健康診断にて胸部X線撮影・身体計測・尿検査・内科検診・心電図検査を実施しています。今年度は、新型コロナ感染防止対策の緩和に伴いクラブ活動時間、人数など制限が緩和されましたが、体調報告、記録は義務付けられ、体調に変化のある学生は保健室より聞き取りを実施しました。

I) 体育会クラブ健康診断実施要項

表2-1 体育会健康診断実施要項

実施対象者	実施項目	実施期間
体育会所属クラブ学生 (入部予定者を含む)	胸部X線撮影・身体計測 心電図・尿検査・内科診察	4月17日～20日

2) 体育会クラブ健康診断受診状況及び事後処置

① 胸部X線撮影・心電図検査

表2-2 体育会所属クラブ検診受診状況

クラブ名	部員数	定健 胸部 X線	定健X線 受診率 (%)	外部 X線	外部受 診率 (%)	合計受 診者数	未受診 者	受診率 (%)
アーチェリー部	9	9	100	0	0.0	9	0	100
合気道部	13	13	100	0	0.0	13	0	100
アメリカンフットボール部	73	66	90.4	1	1.4	67	6	91.8
空手道部	10	10	100	0	0.0	10	0	100
弓道部	30	29	96.7	1	3.3	30	0	100
剣道部	14	9	64.3	2	14.3	11	3	78.6
硬式庭球部	10	10	100	0	0.0	10	0	100
硬式野球部	51	51	100	0	0.0	51	0	100
ゴルフ部	11	8	72.7	0	0.0	8	3	72.7
サッカーレイク部	128	123	96.1	0	0.0	123	5	96.1
少林寺拳法部	7	5	71.4	0	0.0	5	2	71.4
自転車部	5	4	80.0	1	20.0	5	0	100
自動車部	-	-	-	-	-	-	-	-
柔道部	9	6	66.7	0	0.0	6	3	66.7
ウェイトリフティング部	24	24	100	0	0.0	24	0	100
準硬式野球部	15	15	100	0	0.0	15	0	100
水泳部	28	25	89.3	0	0.0	25	3	89.3
卓球部	14	12	85.7	0	0.0	12	2	85.7
ソフトテニス部	25	24	96.0	1	4.0	25	0	100
日本拳法部	9	8	89	0	0.0	8	1	89
バスケットボール部	19	18	94.7	1	5.3	19	0	100
バドミントン部	31	30	96.8	1	3.2	31	0	100
バレーボール部	34	33	97.1	0	0.0	33	1	97.1
ハンドボール部	26	26	100	0	0.0	26	0	100
ボウリング部	7	6	86	1	14.3	7	0	100
ボクシング部	15	14	93	1	6.7	15	0	100
ラグビー部	17	13	76.5	0	0.0	13	4	76.5
陸上競技部	23	22	95.7	1	4.3	23	0	100
レスリング部	12	12	100	0	0.0	12	0	100
アイスホッケー部	18	13	72.2	2	11.1	15	3	83.3
ラクロス部	33	30	90.9	1	3.0	31	2	93.9
チアリーディング部	17	17	100	0	0.0	17	0	100
フィギュアスケート部	1	1	100	0	0.0	1	0	100
合計	738	686	93.0	14	1.9	700	38	94.9

※ラグビー部とアイスホッケー部に重複登録 1名あり

表2-3 体育会所属クラブ心電図受診状況

クラブ名	対象者数	1次検査				
		受診者数	受診率(%)	有所見者	要精検者	要精検率(%)
アーチェリー部	9	9	100	0	-	-
合気道部	13	13	100	0	-	-
アメリカンフットボール部	73	69	94.5	2	0	-
空手道部	10	9	90	0	-	-
弓道部	30	30	100	1	0	-
剣道部	14	11	78.6	0	-	-
硬式庭球部	10	10	100	0	-	-
硬式野球部	51	51	100	1	0	-
ゴルフ部	11	9	81.8	0	-	-
サッカー部	128	124	96.9	1	0	-
少林寺拳法部	7	5	71.4	0	-	-
自転車部	5	4	80	0	-	-
自動車部	-	-	-	-	-	-
柔道部	9	6	66.7	0	-	-
ウェイトリфтинг部	24	24	100	0	-	-
準硬式野球部	15	14	93.3	0	-	-
水泳部	28	21	75	0	-	-
卓球部	14	11	78.6	1	0	-
ソフトテニス部	25	25	100	1	0	-
日本拳法部	9	8	88.9	0	-	-
バスケットボール部	19	18	94.7	0	-	-
バドミントン部	31	31	100	1	0	-
バレーボール部	34	34	100	2	0	-
ハンドボール部	26	26	100	1	0	-
ボウリング部	7	7	100	0	-	-
ボクシング部	15	15	100	0	-	-
ラグビー部	17	14	82.4	0	-	-
陸上競技部	23	23	100	2	0	-
レスリング部	12	12	100	0	-	-
アイスホッケー部	18	15	83.3	0	-	-
ラクロス部	33	31	93.9	0	-	-
チア・リーディング部	17	17	100	0	-	-
フィギュアスケート部	1	1	100	0	-	-
合計	738	697	94.4	13	0	0

※ラグビー部とアイスホッケー部に重複登録1名あり

表2-4 心電図1次検査有所見内容

所見内容	有所見者数	指導区分	
		経過観察 C	要精査 D
WPW症候群	2	2	0
QT延長疑い (QTc0.48)	1	1	0
洞徐脈 (45/分)	1	1	0
心室期外収縮 (~4段脈)	1	1	0
単心室術後	1	1	0
心室期外収縮 (散発)	1	1	0
洞徐脈 (÷36/分)	1	1	0
不完全右脚ブロック 洞徐脈 (37/分)	1	1	0
非定型WPW症候群	1	1	0
洞徐脈 (36~41/分)	2	2	0
心臓(疾患名不明)術後	1	1	0
合 計	13	13	0

表2-5 体育会クラブ所属学生内科検診受診状況

クラブ名	対象者数	受診者数	受診率(%)	有所見者数	有所見率(%)	未受診者数
アーチェリー部	9	9	100	-	-	-
合気道部	13	13	100	-	-	-
アメリカンフットボール部	73	67	91.8	0	0	6
空手道部	10	9	90.0	0	0	1
弓道部	30	30	100	-	-	-
剣道部	14	11	78.6	0	0	3
硬式庭球部	10	10	100	-	-	-
硬式野球部	51	51	100	-	-	-
ゴルフ部	11	8	72.7	0	0	3
サッカー部	128	123	96.1	0	0	5
少林寺拳法部	7	5	71.4	0	0	2
自転車部	5	4	80	0	0	1
自動車部	-	-	-	-	-	-
柔道部	9	6	66.7	0	0	3
ウェイトリフティング部	24	24	100	-	-	-
準硬式野球部	15	14	93.3	0	0	1
水泳部	28	21	75.0	0	0	7
卓球部	14	12	85.7	0	0	2
ソフトテニス部	25	25	100	-	-	-
日本拳法部	9	8	88.9	0	0	1
バスケットボール部	19	18	94.7	0	0	1
バドミントン部	31	31	100	-	-	-
バレーボール部	34	33	97.1	0	0	1
ハンドボール部	26	26	100	-	-	-
ボウリング部	7	7	100	-	-	-
ボクシング部	15	15	100	-	-	-
ラグビー部	17	13	76.5	0	0	4
陸上競技部	23	23	100	-	-	-
レスリング部	12	12	100	-	-	-
アイスホッケー部	18	15	83.3	0	0	3
ラクロス部	33	31	93.9	1	3.2	2
チア・リーディング部	17	17	100	-	-	-
フィギュアスケート部	1	1	100	-	-	-
合計	738	692	93.8	1	0.1	46

※ラグビー部とアイスホッケー部に重複登録1名あり

表2-6 体育会クラブ所属学生内科検診有所見内容

所見内容	有所見者数	指導区分			
		管理不要B	経過観察C	要精査D	要医療E
不整脈	1	1	0	0	0
合計	1	1	0	0	0

表2-7 体育会クラブ所属学生尿検査

クラブ名	対象者数	受診者数	受診率%	1次陽性者		再検査者数	再検査率%	指導区分(精検結果含む)			再検未完了者
				蛋白	糖			異常なし	経過観察	要治療	
アーチェリ一部	9	9	100	0	1	1	100	1	-	-	-
合気道部	13	13	100	0	0	-	-	-	-	-	-
アメリカンフットボール部	73	68	93.2	1	0	0	0	-	-	-	1
空手道部	10	9	90	1	0	0	0	-	-	-	1
弓道部	30	30	100	0	0	-	-	-	-	-	-
剣道部	14	11	78.6	0	0	-	-	-	-	-	-
硬式庭球部	10	10	100	1	0	1	100	1	-	-	-
硬式野球部	51	51	100	3	0	2	66.7	2	-	-	1
ゴルフ部	11	9	81.8	1	0	0	0	-	-	-	1
サッカーハークス部	128	124	96.9	8	0	3	37.5	3	-	-	5
少林寺拳法部	7	5	71.4	0	0	-	-	-	-	-	-
自転車部	5	5	100	0	0	-	-	-	-	-	-
自動車部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
柔道部	9	6	66.7	0	0	-	-	-	-	-	-
ウェイトリフティング部	24	24	100	0	1	1	100	1	-	-	-
準硬式野球部	15	14	93.3	0	0	-	-	-	-	-	-
水泳部	28	21	75.0	0	0	-	-	-	-	-	-
卓球部	14	12	85.7	0	0	-	-	-	-	-	-
ソフトテニス部	25	25	100	0	0	-	-	-	-	-	-
日本拳法部	9	8	88.9	0	0	-	-	-	-	-	-
バスケットボール部	19	18	94.7	1	0	1	100	1	-	-	-
バドミントン部	31	31	100	0	0	-	-	-	-	-	-
バレーボール部	34	34	100	0	0	-	-	-	-	-	-
ハンドボール部	26	26	100	0	0	-	-	-	-	-	-
ボウリング部	7	7	100	0	0	-	-	-	-	-	-
ボクシング部	15	15	100	1	0	1	100	1	-	-	-
ラグビー部	17	13	76.5	0	1	1	100	1	-	-	-
陸上競技部	23	23	100	1	0	1	100	1	-	-	-
レスリング部	12	12	100	0	0	-	-	-	-	-	-
アイスホッケー部	18	15	83.3	2	0	0	0	-	-	-	2
ラクロス部	33	31	93.9	1	0	1	100	1	-	-	-
チア・リーディング部	17	17	100	1	0	0	0	0	-	-	1
フィギュアスケート部	1	1	100	0	0	-	-	-	-	-	-
合計	738	697	94.4	22	3	13	52	13	0	0	12

※ラグビー部とアイスホッケー部に重複登録1名あり

3) 体育会クラブアンケート

スポーツ中の突然死は一般的の突然死より発生頻度は高いが、健康診断では異常が無かったという人がほとんどであり、予防策を取ることが重要である。若年性の突然死は、先天性の心疾患、川崎病の後遺症、心筋梗塞、不整脈などの原因が考えられる。現在の医学でも致死的な不整脈、急性心筋梗塞を100%予測することは不可能であるが、スポーツ歴、既往歴、遺伝的な要因を考慮し健康管理に役立てるよう新入部員へアンケートを実施し、健康管理、健康相談に役立てている。

① アンケート実施要領

アンケート実施日	実施方法	対象者	回収率
6月25日・7月2日	ルーキーキャンプにて実施	体育会新入部員 249名	回答者201名 80.6%

*重複登録1名あり、対象者・回答者には実数を記入

表I-1 体育会所属クラブ新入生健康アンケート実施状況

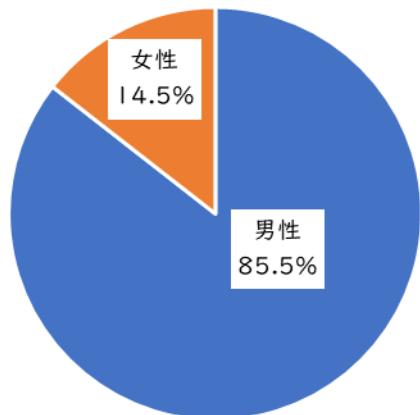
クラブ名	部員数	回収数	回収率(%)
アーチェリーエ部	0	0	-
合気道部	4	3	75
アメリカンフットボール部	25	24	96
空手道部	5	3	60
弓道部	14	12	85.7
剣道部	1	1	100
硬式庭球部	7	6	85.7
硬式野球部	30	28	93.3
ゴルフ部	4	2	50
サッカーボール部	26	24	92.3
少林寺拳法部	1	1	100
自転車部	1	1	100
自動車部	-	-	-
柔道部	2	2	100
ウェイトリфтинг部	9	9	100
準硬式野球部	8	5	63
水泳部	15	10	66.7
卓球部	6	3	50
ソフトテニス部	5	3	60
日本拳法部	1	1	100
バスケットボール部	11	6	55
バドミントン部	15	11	73.3
バレーボール部	6	5	83.3
ハンドボール部	7	7	100
ボウリング部	1	1	100
ボクシング部	10	9	90
ラグビー部	3	3	100
陸上競技部	6	4	66.7
レスリング部	4	1	25
アイスホッケー部	9	6	67
ラクロス部	9	6	66.7
チアリーディング部	5	5	100
フィギュアスケート部	0	0	-
合計	250	202	80.8

*対象者は新入生

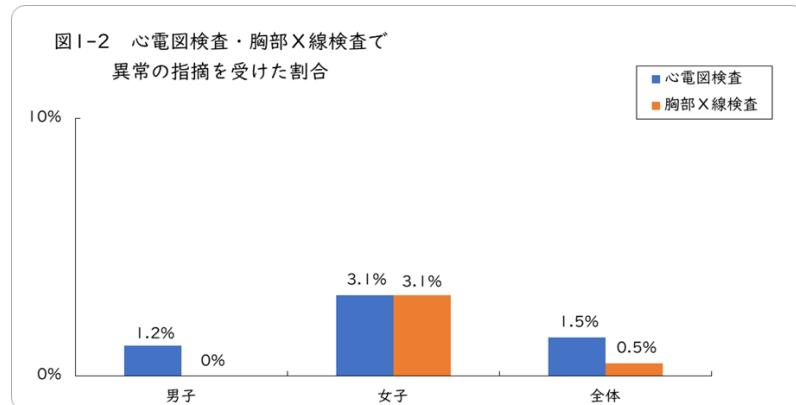
ラグビー部とアイスホッケー部で重複1名あり

図I-1 クラブ男女比

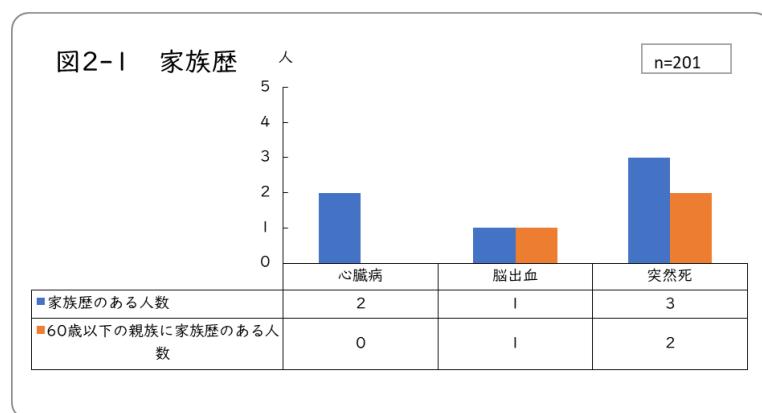
n=249



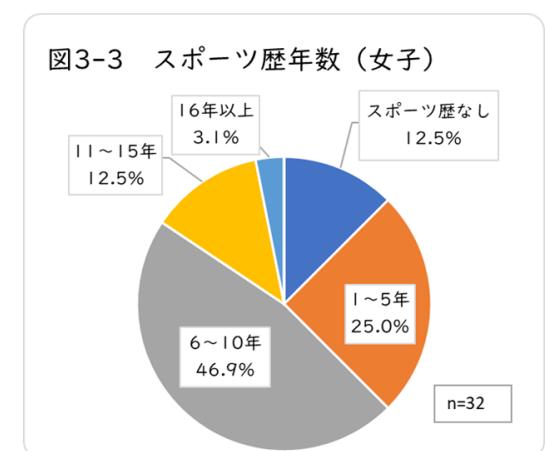
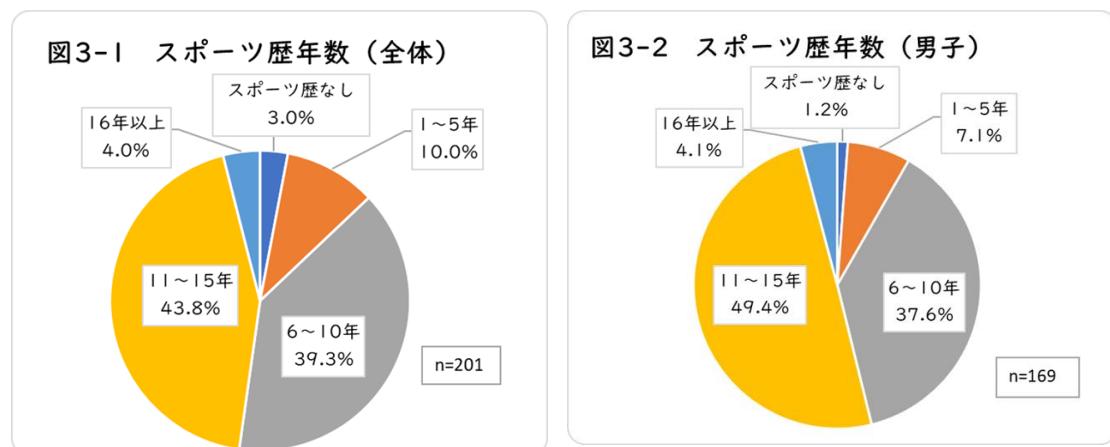
I. 既往歴 心電図検査・胸部X線検査で異常を指摘されたことがありますか



2. 家族歴 親族の方（両親・兄弟姉妹・祖父母・叔父・叔母）で下記の病気で治療中、または、お亡くなりになっている場合年齢もお書きください。

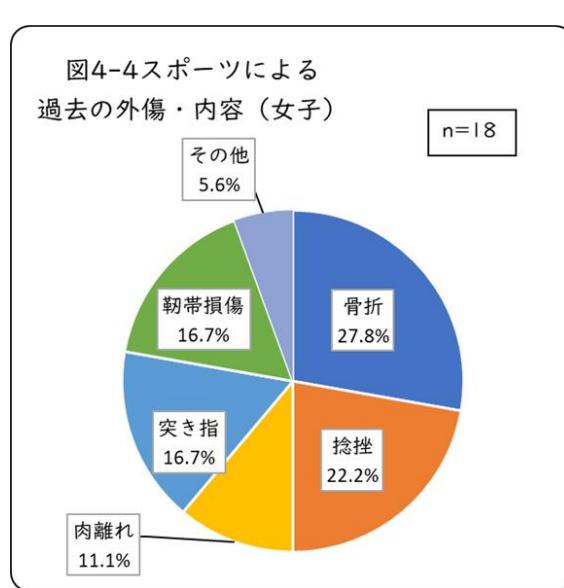
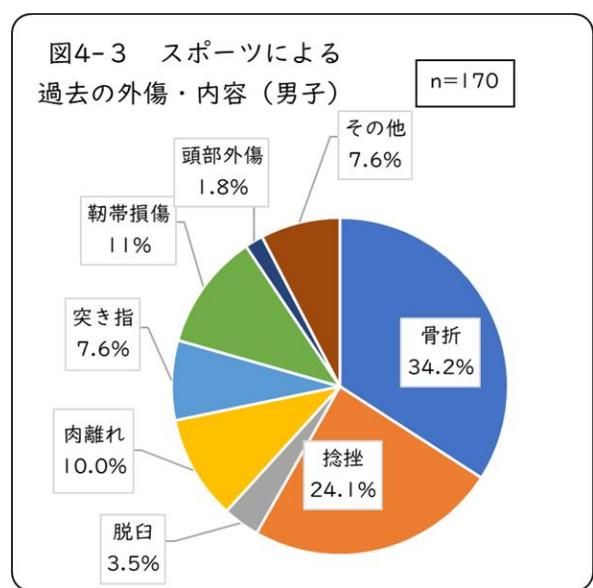
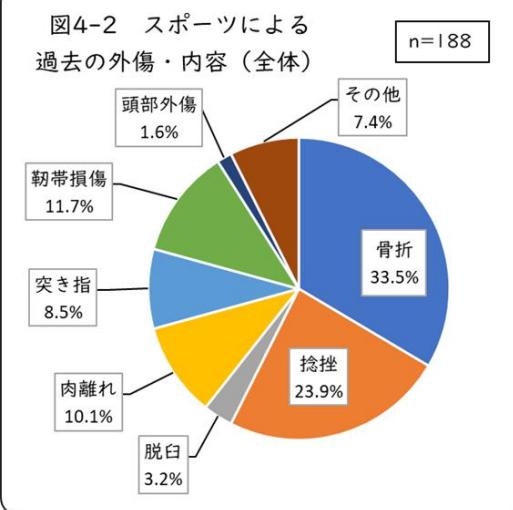
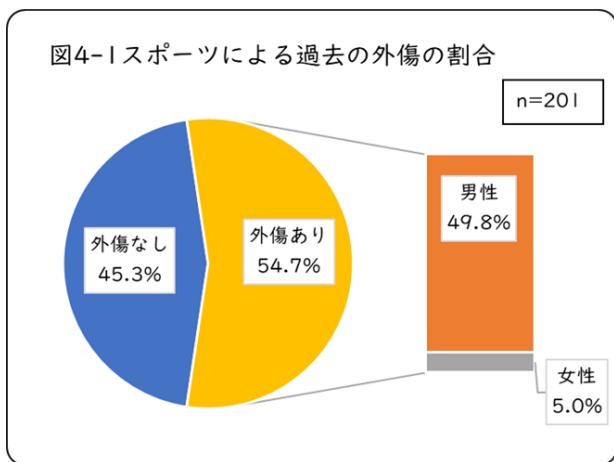


3. スポーツ歴 いつから、どんなスポーツをしていたかお尋ねします。

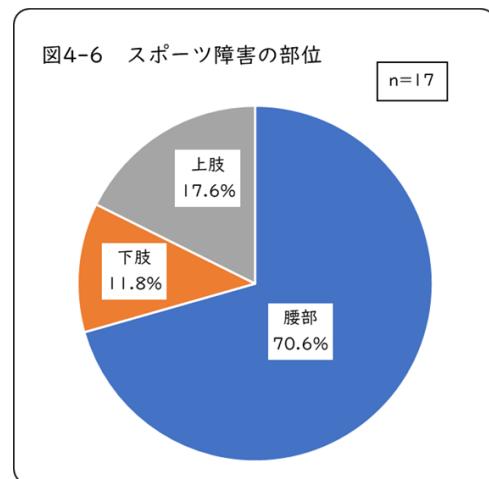
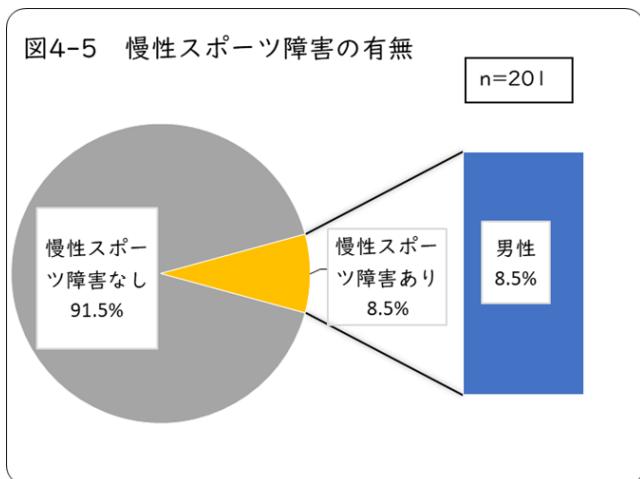


4. スポーツによる過去の外傷についてお尋ねします

①病名・部位をお答え下さい。



②スポーツ障害による自覚症状の有無



3 保健室利用状況

1) 救急処置

表3-1 学生月別保健室利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
内科	19	64	89	100	1	15	62	64	42	32	3	1	492	
外科	13	19	19	23	3	7	12	21	8	5	1	2	133	
整形外科	5	6	4	7	0	1	10	13	4	5	0	1	56	
眼科	3	2	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	9	
耳鼻科	1	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	7	
婦人科	1	5	6	1	0	1	2	3	2	1	0	0	22	
皮膚科	1	1	3	6	0	0	2	0	0	1	0	0	14	
口腔外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
静養室利用	14	55	79	74	1	14	45	54	29	25	1	0	391	
健康相談	身体的	225	188	185	183	37	42	90	108	91	101	15	9	1274
	精神的	40	10	4	0	0	11	5	5	3	0	0	78	
医療機関への紹介	48	57	62	56	8	19	22	20	10	6	0	3	311	
小計	370	409	451	452	50	110	254	290	190	176	20	16	2788	
内科検診	21	123	32	38	0	1	2	2	0	1	0	0	220	
スポーツ整形受診	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4	
精神科受診	26	2	4	1	0	0	5	2	0	0	0	0	40	
尿検査	10	43	34	35	2	10	9	7	3	3	1	0	157	
心電図	2	1	19	20	0	0	1	0	0	0	0	0	43	
合計	429	578	540	546	52	121	273	302	194	180	21	16	3252	

図3-1 学生月別処置件数

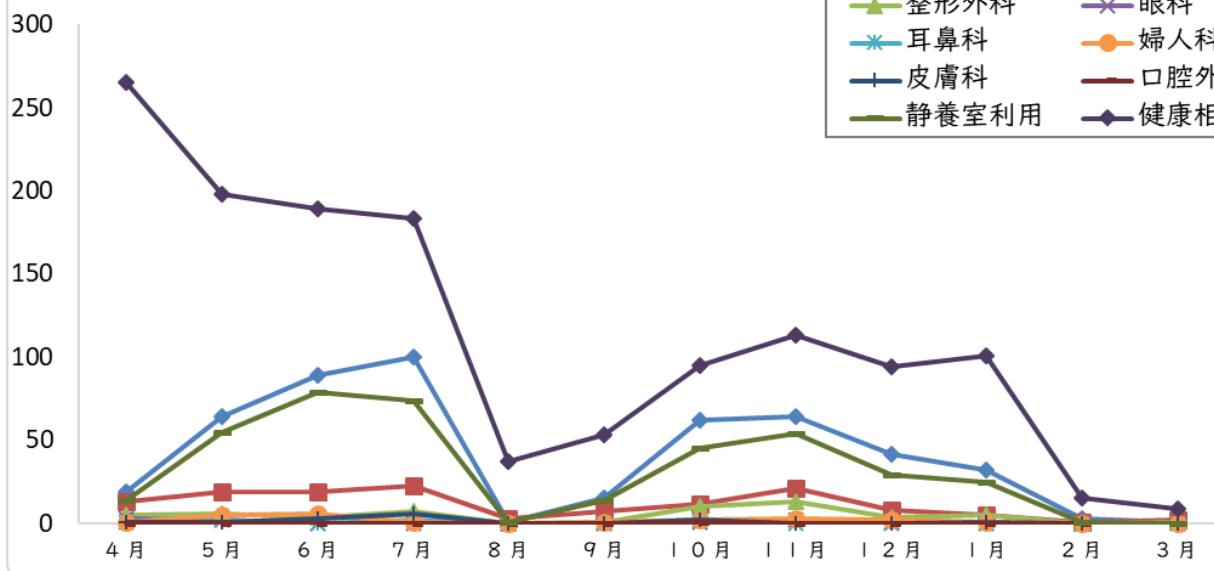
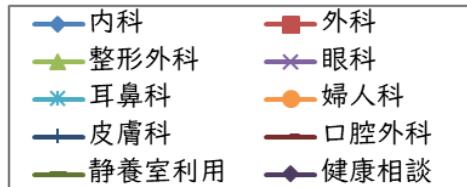


表3-2 学年別保健室利用状況

区分	1年	2年	3年	4年	留年生	大学院生	計
内科	132	227	57	49	24	3	492
外科	54	34	28	15	0	2	133
整形外科	14	21	18	3	0	0	56
眼科	3	2	4	0	0	0	9
耳鼻科	3	1	3	0	0	0	7
婦人科	9	8	4	2	0	0	23
皮膚科	4	7	1	1	0	0	13
口腔外科	0	0	0	1	0	0	1
静養室利用	96	205	37	30	21	2	391
健康相談	525	317	329	161	14	6	1352
医療機関紹介	97	55	70	82	5	2	311
合計	937	877	551	344	64	15	2788

図3-2 疾患別の内訳

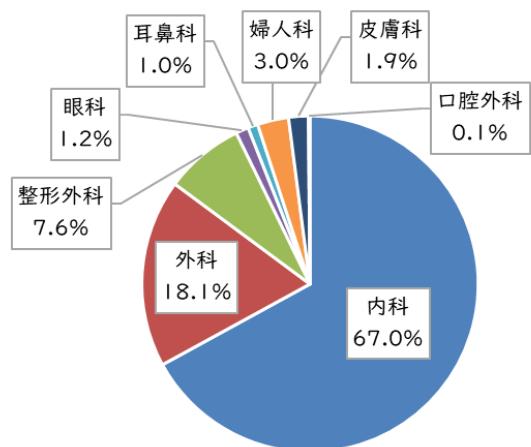


図3-3 内科的症状の内訳

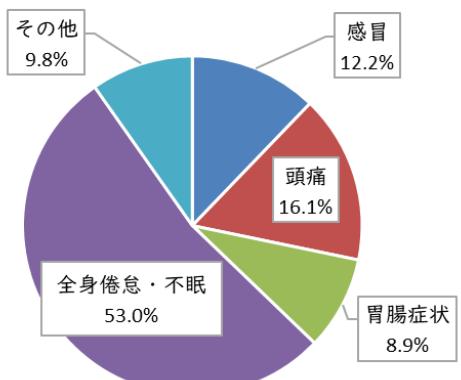


図3-4 外科的症状の内訳

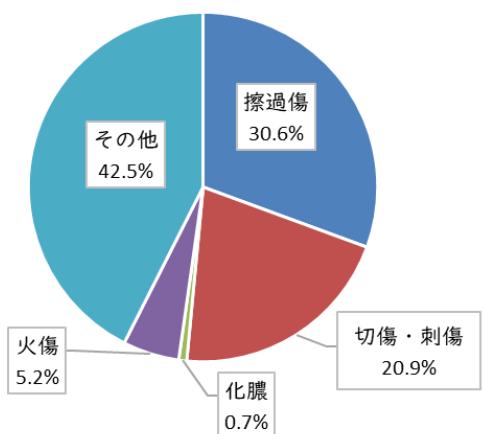


図3-5 整形外科的症状の内訳

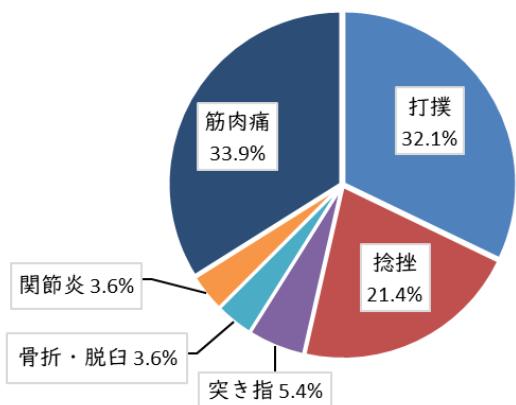


図3-6 学年別保健室利用状況

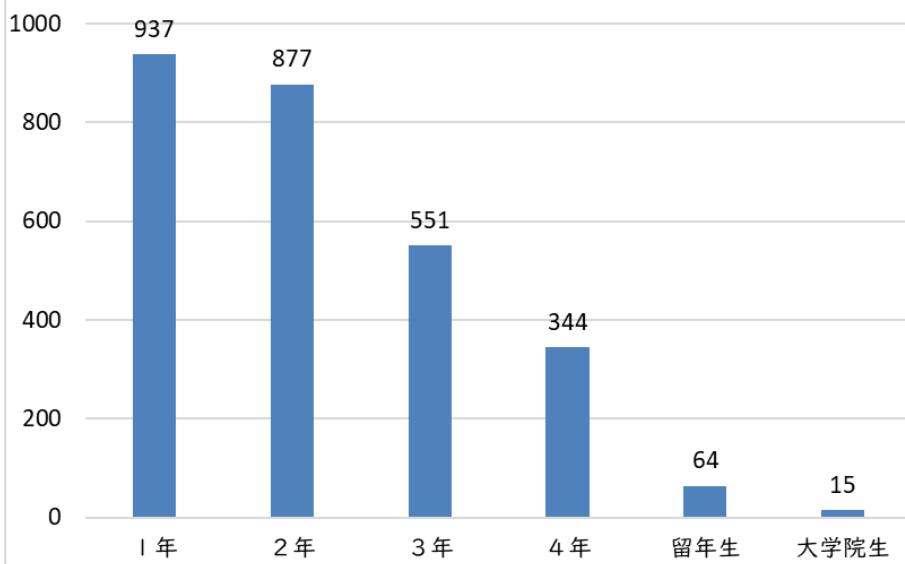
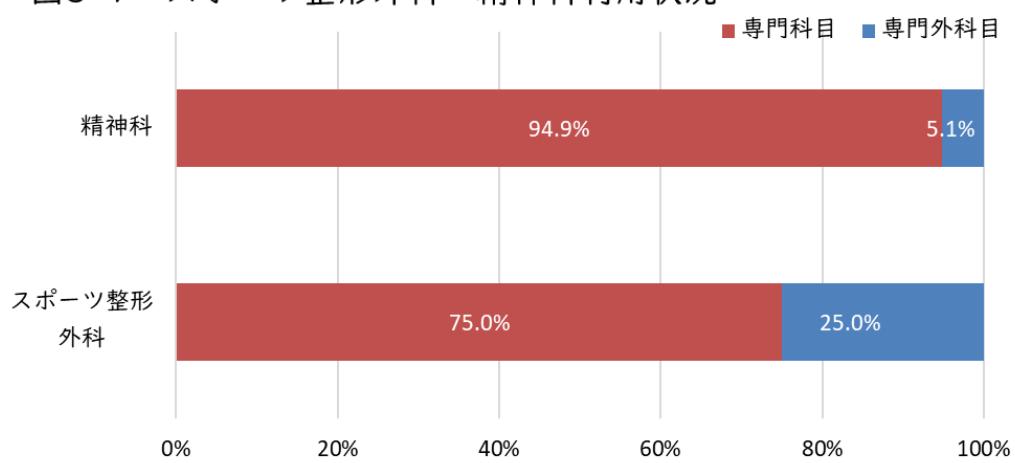


図3-7 スポーツ整形外科・精神科利用状況



2) 医療機関紹介状況

表 3-3 医療機関紹介状況

月別	科別区分	外科	整形外科	内科	精神科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	脳外科	歯科	シス生テ相談	計
4	学生	2	3	24	3	0	1	0	2	0	0	0	13	48
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	学生	0	3	44	2	2	1	1	0	0	0	0	4	57
	教職員	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
6	学生	0	1	53	0	0	1	0	2	0	0	0	5	62
	教職員	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7	学生	0	15	38	0	0	0	0	2	0	0	0	1	56
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	学生	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	学生	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	19
	教職員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10	学生	0	4	13	0	0	1	0	0	0	0	1	3	22
	教職員	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
11	学生	1	4	12	0	1	0	1	0	0	0	0	1	20
	教職員	0	0	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	8
12	学生	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	2	10
	教職員	0	0	37	0	0	1	0	0	0	0	0	0	38
1	学生	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	教職員	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
2	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	学生	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	教職員	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	教職員	0	1	49	3	3	3	0	0	0	0	0	0	59
合計	合計	3	34	271	8	7	7	2	6	0	0	1	31	370

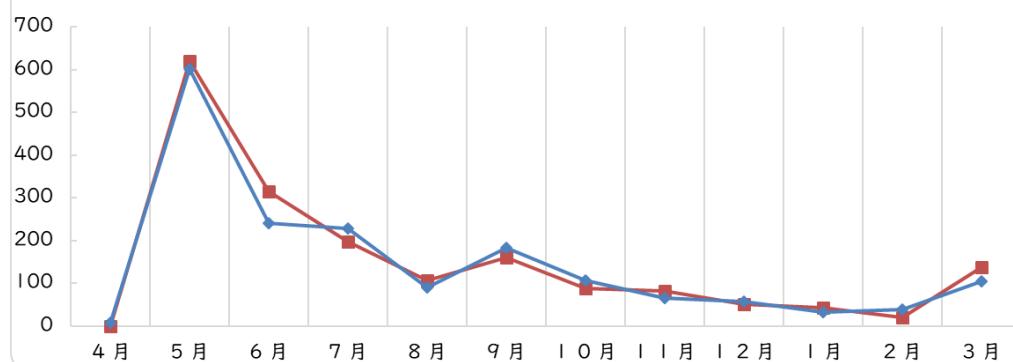
3) 健康診断証明書発行状況

表 3-4 月別健康診断証明書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行機	0	555	220	201	84	156	89	55	48	24	34	98	1564
あべのサテライト	0	7	4	18	2	11	4	3	1	5	3	3	61
保健室発行	8	40	17	9	5	15	14	7	8	3	1	3	130
合計	8	602	241	228	91	182	107	65	57	32	38	104	1755

図 3-8 月別健康診断証明書発行状況

■ 22年度 ▲ 23年度



III 教職員の健康管理

I 定期健康診断

教職員の定期健康診断は、年に1回労働安全衛生法第66条、および学校保健安全法に基づき下記の要領で実施し、労働基準監督署に「定期健康診断結果報告書」を提出している。教職員の健康状態を、作業環境等の変化を踏まえ把握した上で、保健指導、健康管理、作業環境管理に役立て、常に健康で働くことを目的としている。

I) 定期健康診断実施要項

表 I-1 教職員定期健康診断実施要項

	対象者	実施項目	実施期間
1次検診	教職員全員	胸部X線直接撮影 血液検査 尿検査 聴覚検査 視力検査 血圧測定 内科診察 身体計測（身長・体重・腹囲） 心電図検査	11月17日（金） 受付AM8:00～12:30 11月20日（月） 受付AM8:00～12:30 11月21日（火） 受付AM8:00～12:30
	希望者のみ	胃部X線透視撮影 腫瘍マーカー 便検査 眼底検査 腹部エコー検査	
2次検診	1次検診有所見者	専門医療機関へ紹介	

表 I-2 血液検査項目

生化学的	血清学的	血液学的
GOT、GPT、γ-GPT 総蛋白、アルブミン LDLコレステロール、中性脂肪 HDLコレステロール、尿酸 空腹時血糖、Hb-A1c	CRP定量 eGFR	白血球、赤血球、ヘマクリット 血色素量、MCV、MCH MCHC、色素指数 全血比重

2) 定期健康診断受診状況及び事後措置

表 I-3 教職員定期健康診断受診状況一覧

所属	対象者数	検査項目											定健受診実数(A)	外部医療機関(B)	合計(A)+(B)	
		X線	身体計測	聴力	眼底	内科	血圧	血液	尿	胃X線	心電図	便検査				
教員	168	受診数	139	141	141	127	141	141	141	52	141	101	113	28	141	
		受診率(%)	82.7	84	83.9	75.6	83.9	83.9	83.9	31.0	83.9	60.1	67.3	16.7	83.9	
職員	145	受診数	141	142	142	133	142	142	143	139	59	141	97	124	19	143
		受診率(%)	97.2	97.9	97.9	91.7	97.9	97.9	98.6	95.9	40.7	97.2	66.9	85.5	13.1	98.6
合計	313	受診数	280	283	283	260	283	283	284	280	111	282	198	237	47	284
		受診率(%)	89.5	90.4	90.4	83.1	90.4	90.4	90.7	89.5	35.5	90.1	63.3	75.7	15.0	90.7

表 I-4 定期健康診断有所見率

項目	有所見率 (%)		
	教員	職員	全体
B M I	31.2%	29.4%	30.3%
聴力 (1000Hz)	1.4%	4.2%	2.8%
聴力 (4000Hz)	3.5%	4.9%	4.2%
胸部X線検査	0.0%	0.0%	0.0%
血圧	22.0%	21.7%	21.8%
貧血検査	7.1%	11.9%	9.5%
肝機能検査	17.0%	18.2%	17.6%
血中脂質検査	29.1%	25.9%	27.5%
血糖検査	12.1%	11.2%	11.6%
尿検査 (糖)	2.1%	2.8%	2.5%
尿検査 (蛋白)	0.7%	1%	0.7%
心電図検査	0.7%	0%	0.4%
胃X線検査※	25.0%	20.3%	22.5%
眼底検査※	2.4%	1.5%	1.9%
便潜血※	5.9%	3.1%	4.5%
所見のあった割合	68.8%	65.7%	67.3%
要医療者率	7.8%	9.1%	8.5%

※印は希望者のみ実施

表 I-5 BMI 別 血液検査判定基準

貧血	RBC	男性	430 >
		女性	370 >
Hb	男性	13.5 >	
	女性	11.3 >	
Ht	男性	38 >	
	女性	33 >	
脂質	TG	150 ≤	
	LDL	140 ≤	
	HDL	40 >	
肝機能	GOT	41 ≤	
	GPT	46 ≤	
	γ-GTP	男性	88 ≤
		女性	41 ≤
血糖	GLU	111 ≤	
	HbA1c	6.3 ≤	
尿酸	UA	7.1 ≤	
	収縮期	140 ≤	
	拡張期	90 ≤	

表 I-6 メタボリックシンドローム診断基準

条件	検査項目・判定
腹囲	血糖 空腹時血糖 110mg/dl以上 または薬剤治療している場合 (質問票から)
男性：85cm以上 女性：90cm以上	脂質 中性脂肪 150mg/dl以上 またはHDLコレステロール 40mg/dl未満 または薬剤治療している場合 (質問票から)
	血圧 収縮期血圧 130mmHg以上 または拡張期血圧 85mmHg以上 または薬剤治療している場合 (質問票から)

図 I-2 肥満判定者の有所見割合

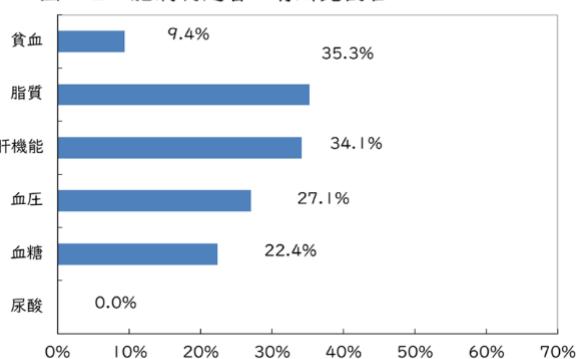


図 I-3 普通判定者の有所見割合

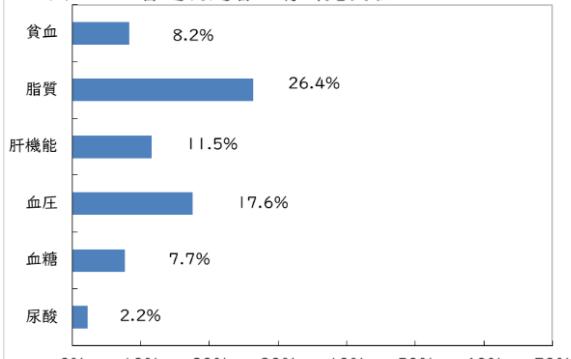
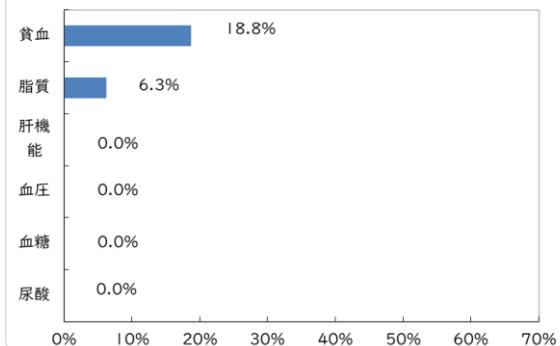


図1-4 やせ判定者の有所見割合



特定健診・保健指導の判定基準

表1-8 ステップ1 内臓脂肪蓄積に着目してリスク判定

タイプA	腹囲：男性85cm以上 女性90cm以上
タイプB	腹囲：男性85cm未満 女性90cm未満で BMI25以上

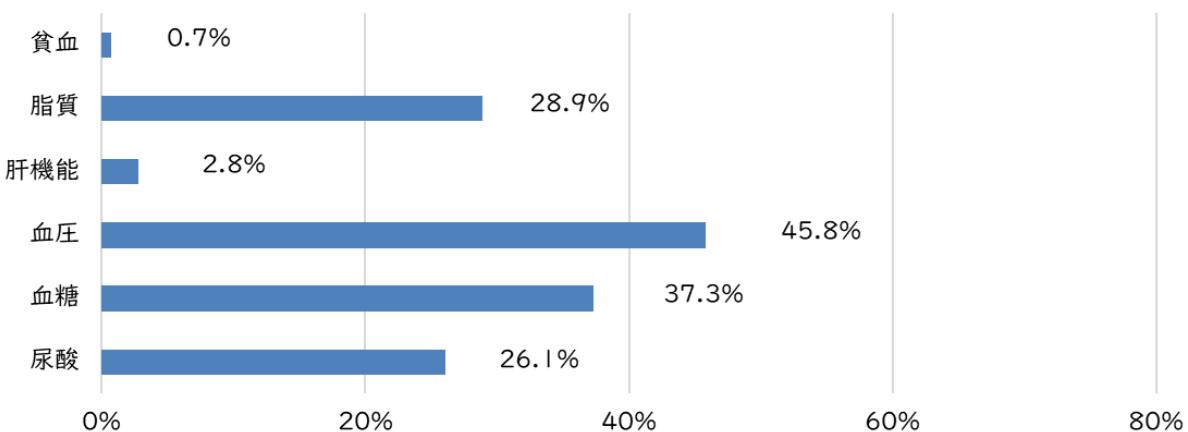
表1-9 ステップ2 特定健診診断基準(ステップ1該当者のなかから以下の基準値で抽出)

① 血糖	空腹時血糖 100mg/dl以上 又は HbA1c 5.6%以上 又は 隨時血糖 100mg/dl以上
② 脂質	中性脂肪 150mg/dl以上 又は HDLコレステロール 40mg/dl未満
③ 血圧	収縮期血圧 130mmHg以上 又は 拡張期血圧 85mmHg以上
問診票	喫煙歴あり (①～③で1つ以上ある場合のみリスクに追加)

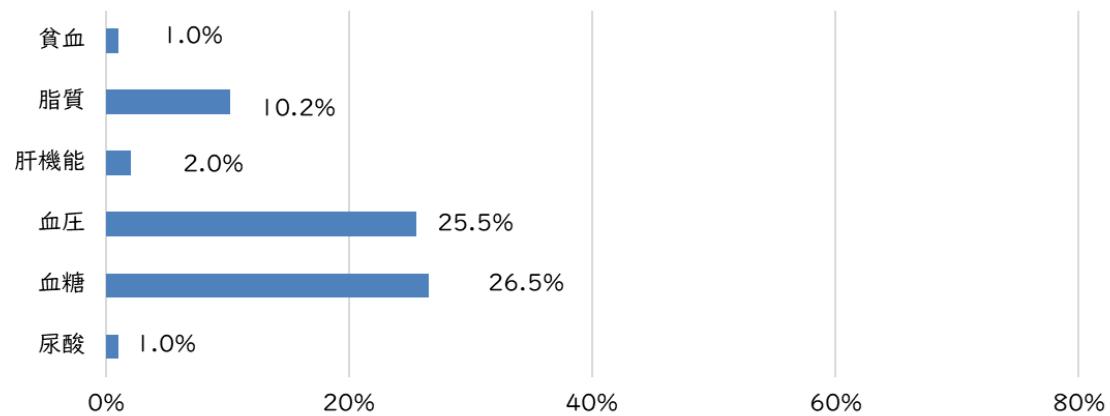
表1-10 ステップ3 特定健診判定による保健指導対象者の選定

項目	追加リスク（検査値異常） ①血糖 ②脂質 ③血圧	④ 喫煙歴	特定保健指導項目	
			40-64歳	65-74歳
腹囲 85cm以上（男性） 90cm以上（女性）	2つ以上該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当			
上記以外で BMI25以上	3つ該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当			
	1つ該当			

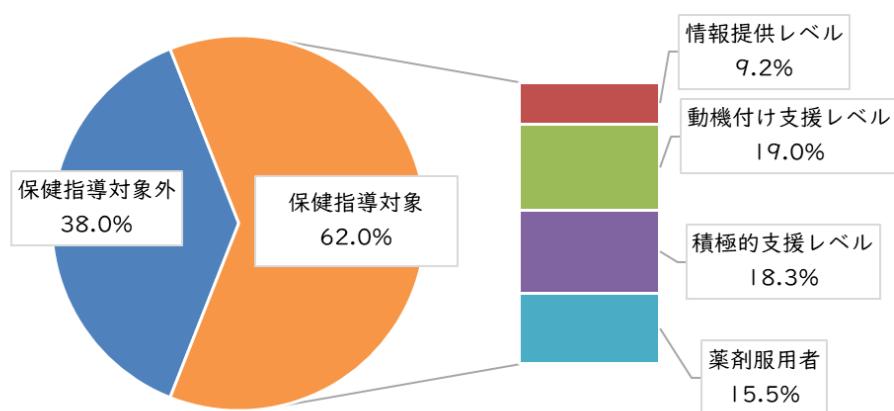
図1-5 特定健診対象者（40歳以上）の有所見率（男性）



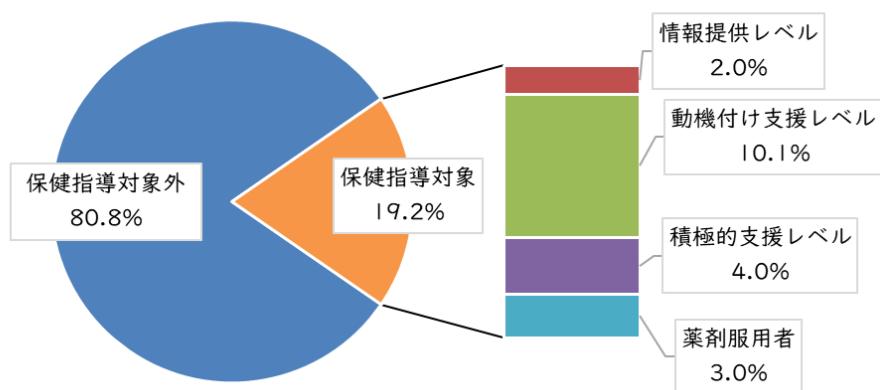
図I-6 特定健診対象者（40歳以上）の有所見率（女性）



図I-7 特定保健指導区分別分類（男性）



図I-8 特定保健指導区分別分類（女性）



2 保健室利用状況

I) 救急処置

表 2-1 教職員月別保健室利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科的	2	3	9	5	1	7	12	10	3	2	3	7	64
外科的	1	3	2	0	3	5	5	1	1	1	5	3	30
整形外科的	1	1	1	0	1	2	0	0	1	1	0	1	9
眼科	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
婦人科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
口腔外科	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	5
静養室利用	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	6
健康相談	4	5	4	6	5	4	9	31	61	39	30	9	207
(身体的)	4	5	4	5	5	4	9	30	61	36	30	9	202
(精神的)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	5
医療機関への紹介	0	3	2	0	0	1	3	8	38	3	0	1	59
小計	10	15	22	13	10	19	34	53	105	46	40	22	389
内科検診	14	3	2	1	0	11	7	29	38	13	0	0	118
スポーツ整形受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科受診	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心電図	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	25	19	24	14	10	30	41	84	143	60	40	22	512

図2-1 教職員月別処置件数

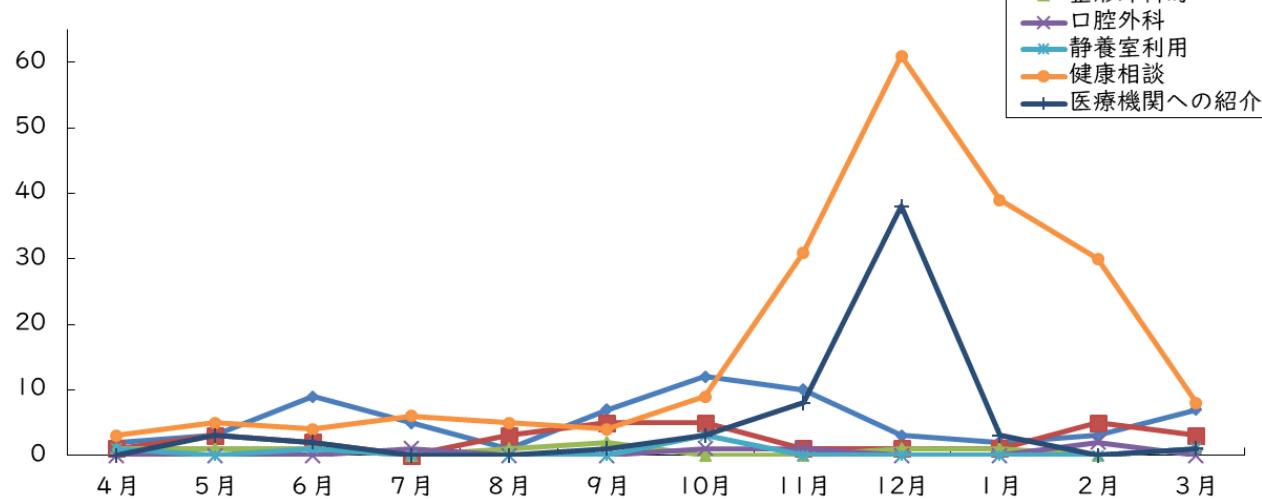


図2-2 疾患別応急手当の内訳

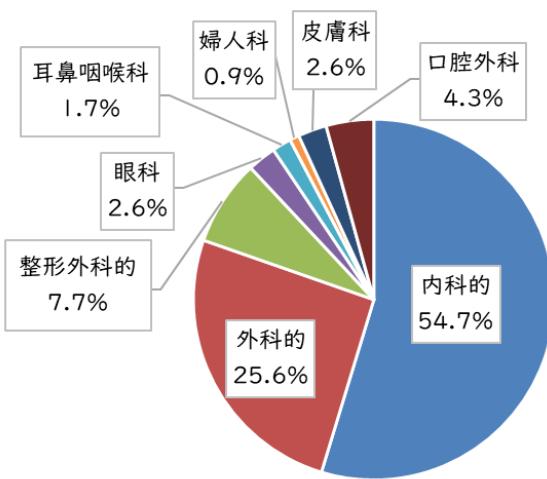


図2-3 内科的症状内訳

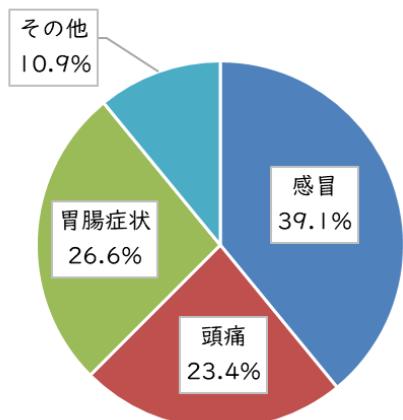


図2-4 外科的症状内訳

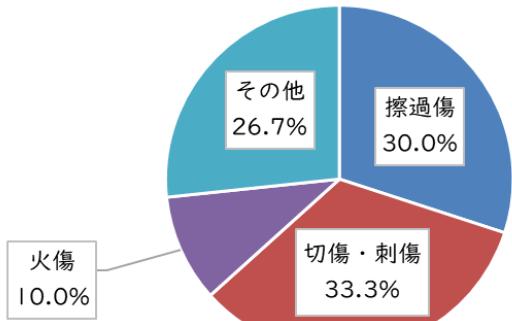
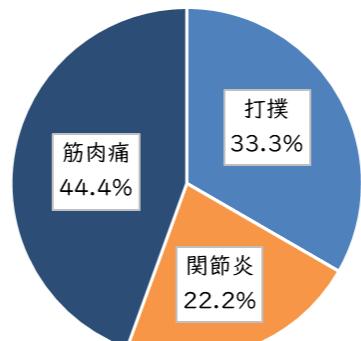


図2-5 整形外科的症状内訳



編 集 後 記

2023年5月より、新型コロナウイルス感染症は、感染症法の5類へ分類され、過去に例を見ない制約された日常生活から解放されました。

5類への移行に伴い、保健室の対応で変化したことの一つとして、新型コロナウイルス感染症に関する公認欠席対応があります。家族や友人に新型コロナウイルスと診断された人がいても濃厚接触者として特定されず、外出自粛の必要もなく、公認欠席の対象ではないのですが、学生からは、公認欠席にならないのかという問い合わせが続きました。感染症法上の変更内容が理解できていないこと以外に、遠隔授業で受けることは出来ないのか等の相談を受けることもありました。

毎日登校し、対面授業を受けるという、本来の学びのスタイルへ適応するには、戸惑いを感じ、暫く時間を要する学生もいたように思いました。その反面、キャンパス内で密な学生生活を送れなかつた無念さからか、学生生活を取り戻したいと積極的に学内プログラムに参加する学生も見受けました。キャンパスコミュニティー形成支援プログラムの一つである「ひとり暮らしの料理教室」も4年ぶりに再会することができ、3年生、4年生の参加者が多く、全参加者の75%を占めました。参加動機として食生活を見直したいと答える学生もあり、参加者からは、「一緒に料理を作るプロセスも楽しく、達成感があった」「調理方法を学べた」等の感想が寄せられました。学年、学部、国籍等も関係なく、顔と顔を合わせて、リアルな体験をすることの大切さを改めて実感しました。学生が同世代の健康問題などに关心を持ち、考えることが出来るプログラムを企画することは重要なと思います。

ポストパンデミックでは、世界的な人の往来が活発となり、世界各地で麻疹の流行が報告されるなど、再興感染症、新興感染症への警戒、対策は今後も続きます。また、日本では若い世代に梅毒感染者が急速に増加していることも懸念されます。自分は大丈夫と思わないで、適切な予防対策を取る、早期発見、早期治療が大切です。今後も、保健室から健康に関する情報を発信していきます。

今後とも皆様方の温かいご指導、ご叱責下さいますよう宜しくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、第28号の編集に際しお忙しい中ご協力くださいました皆様方に、心よりお礼申し上げます。

2024年7月 看護師 今井 敏子